

東郷井（とうごうせい） 花隈町



川崎重工保健組合会館（現在はマンション）の敷地は、日本で最初に映画を上映した場所として知られる神港倶楽部（しんこうくらぶ）のあった所である。この神港倶楽部時代、その前庭に清水の湧き出た古井泉があり、それを俗に「東郷井」と呼んでいた。区画整理による道路拡張でその古井泉も埋められ、「東郷井」の石碑だけが会館の前に残されていた。

「東郷井」の名称は、日露戦争の日本海海戦でロシアのバルチック艦隊を撃破させた事で知られる海軍の東郷平八郎元帥にちなむ。東郷は、海軍中佐時代の1885（明治18）年7月に、小野浜で建造中だった軍艦「大和」の監督官として神戸にやってきた。来神した彼は、ここ神港倶楽部の敷地内にあった和洋折衷の家的一年間ほど住み、毎日、そこに湧く古井泉と親しんでいたという。東郷は1928（昭和3）年、この井のために「清水流芳」の額をこの倶楽部に贈っており、それが掲げられていた。

1930（昭和5）年、倶楽部の有志が、この古井泉を記念するため、「東郷井」の石碑を建て、同年5月19日に除幕した。なお、「東郷井」は財部彪海軍中将（当時、後大将）の命名で、文字は小笠原長生海軍中将の筆である。

現在、この石碑はもとの場所から花隈公園内に移設されている。

場所：神戸市中央区花隈町1 花隈公園内
（元の場所：花隈町7-16の今では歩道のあたり）